

2006年2月17日

No.54

# 又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 谷岸 孝士

富山市下新町4-27

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

## 平和・自由・平等・共生の日本へ 社民党大会終え、次の飛躍の10年めざす

社会民主党へ改名して10年の節目にあたり、党は2月11、12両日、東京三宅坂の社会文化会館で第10回大会を開いた。苦節の10年を越えて踏みとどまった代議員・党員一同は、新しい飛躍へ向けて果敢に活動することを誓い合った。又市幹事長【写真右】は同大会で再選され、引き続き福島党首、淵上・照屋両副党首とともに党の重責を担う。

大会は、1年10ヵ月の全地方組織での討議により豊富化された『社会民主党宣言』案を、満場一致で採択した。全国討議の過程で、社会民主主義の理念として、「自由・平等」を保障する基盤となる「平和」が最も重要であることを確認・明文化し、また「連帯」には「アジアの人々や人間以外の自然とも」という意味を加えて「共生」の語を選択した。

また、『宣言』は自衛隊について「現状、明らかに違憲状態にある」と、村山政権退陣以降の自民党政権下において、現在のイラク派遣・多国籍軍参加まで至った変質を正確に検証し、「戦争のできる国」・憲法改悪を許さず、改めて専守防衛から、国境警備・災害救助・国際協力の平和目的組織に変革していく展望を明らかにした。



あわせて大会では、94年の小選挙区制導入に際し、反対票を投じた被処分国会議員の名誉を回復し、民意を反映する比例代表中心の選挙制度へ、改革の取り組みを確認した。

参加した代議員・党員は「久しぶりに和気あいあい、暗雲がスカッと晴れた大会だった。」「20代から80代まで心を一についで、格差社会打破、平和とくらしを守る闘いへの勇気が湧いてきた。」と語り合った。【写真左 閉会のガンパロー】

## 又市幹事長が始動、各党・労組へあいさつ 「くらしを守る共闘、憲法1000ヵ所集会を」

又市幹事長は大会後さっそく翌13日から、各政党執行部や、連合傘下の日教組・全農林・自治労はじめ各労組へ、福島党首や菅野哲雄常任幹事・労働委員会委員長とともにあいさつ回りを行なった。この中で又市幹事長は、国会では4点セット（軍需の官製談合、建築偽装と伊藤元大臣疑惑、ライブドアと自民党の癒着、BSE）追及から予算共同提案を、院内外では改憲阻止・改憲国民投票法案上程阻止の多角的・重層的共闘を、また党独自には憲法1000ヵ所集会・街頭演説会達成へ向け、各方面の協力を要請した。